

教育の広がり（藩校明倫館の時間割）

The image shows a page from a historical document titled '毛利十一代史' (Mōri 11th Generation History). The page contains a detailed schedule for the Meirōkan (Mōri Shintōkan) school. The schedule is organized by date and time, listing various activities such as lectures, military training, and cultural events. The text is written in vertical Japanese characters.

*一般郷土史料91 2 「毛利十一代史 第二十一冊」

解説

諸藩では、学問や武道を教え人材を育成するため藩校が設けられました。萩藩でも、1719（享保4）年に4代藩主毛利吉元が萩城三の曲輪内に藩校明倫館を創設しました。

「文学并諸武芸稽古之次第」および「諸稽古日割」に、明倫館の授業日や休日の規定、一日の時間割、毎月の授業予定を見ることができます。

①授業日

- ・毎年1月12日始業、12月10日終業

②休業日

- ・毎月1日、15日、28日、30日
- ・五節句（人日・上巳・端午・七夕・重陽）
- ・盆（2日間）
- ・城下の神社祭礼日
- ・7月の「講義」と9月の「諸武芸」は休講

③1日の時間割

- ・朝六つ時から五つ時まで「文学素読」（毎月2日から隔日）
- ・朝五つ時から「儒書講釈」（月に12日）・「兵書講釈」（月に6日）
- ・「講釈」終了後から日暮れまで「諸武芸（新陰・鎗・十文字）」（担当者5名で各5日、計25日）・「射芸」（月に6日）、馬術は天気次第で随時

④1か月間の授業日程と授業担当者（写真）

*1849（嘉永2）年、萩藩は西洋列強からの外圧への対処として、文武興隆と藩政の引き締めを目的に、明倫館を江向（萩市）に移転拡張しました。